



## 2026年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年4月14日

上場会社名 株式会社Globee 上場取引所 東  
 コード番号 5575 URL <https://www.globee.io/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 幾嶋 研三郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 指田 恭平 TEL 03-6230-9016  
 配当支払開始予定日 -  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年5月期第3四半期の業績（2025年6月1日～2026年2月28日）

#### （1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期第3四半期	1,488	24.9	317	△1.8	320	△1.1	216	△3.1
2025年5月期第3四半期	1,191	28.8	323	35.6	324	37.3	223	42.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期第3四半期	42.53	42.20
2025年5月期第3四半期	44.11	43.50

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年5月期第3四半期	2,314	1,092	47.2
2025年5月期	2,243	901	40.2

（参考）自己資本 2026年5月期第3四半期 1,092百万円 2025年5月期 901百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年5月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2026年5月期	-	0.00	-		
2026年5月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年5月期の業績予想（2025年6月1日～2026年5月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,040	24.6	435	5.7	435	6.6	290	3.0	56.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年5月期3Q	5,116,869株	2025年5月期	5,068,159株
② 期末自己株式数	2026年5月期3Q	46,800株	2025年5月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年5月期3Q	5,088,861株	2025年5月期3Q	5,062,529株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手し得る情報と合理的であると判断する一定の条件によって作成しているため、数値記述内容の達成を確約するものではありません。また、実績は種々の要因にて変動することがあります。業績等の予想に関する注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手について)

当社は、2026年4月14日(火)に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、速やかにウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間につきましては、「abceed」のサービス改善、コンテンツの拡充と販売拡大に注力し、一般ユーザー、法人等の有料会員の獲得を図ってまいりました。当第3四半期末時点において、有料会員数は13.1万人となっており、前四半期末時点からは0.5万人の増加となりました。一般ユーザー向けには例年通り1月にProプラン半額キャンペーンを実施していることもあり、有料会員数は伸長しております。

引き続き新規コンテンツの追加やユーザービリティの向上に資する機能改善や品質の向上に取り組んでおります。学校向けにも新機能の開発を多面的に進め、AIを活用した英作文添削、音読採点、スピーキング添削、AI英会話などのプランの導入が進んでおります。

コンテンツ面では、2026年2月に多岐にわたるテーマで知的好奇心を刺激するプレゼンテーションのコンテンツとして世界中で親しまれているTED Talksのコンテンツの無料配信を開始しております。また、『TOEIC® L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』『TOEIC® L&R テスト 文法問題 出る1000問』などの著者であるTEX加藤氏をはじめ、有名な著者や英語系インフルエンサーの方々が登壇する特別ライブ講義を実施しており、映画・ドラマ・アニメ、教材以外にも幅広くコンテンツの充実を図っております。今後も様々なコンテンツのライセンス獲得に向けた準備を進め、いっそう強化してまいります。

法人向けについては、導入法人数は当第3四半期末時点で累計605件まで伸長しております。人員の拡充及び営業体制の強化を進めており、中長期的な顧客開拓に繋がる取り組みを推進しております。

このような状況のなか、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高1,488,288千円（前年同四半期比24.9%増）、営業利益317,324千円（前年同四半期比1.8%減）、経常利益320,819千円（前年同四半期比1.1%減）、四半期純利益216,439千円（前年同四半期比3.1%減）となりました。

当社は教育サービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

	ユーザー数	有料会員数 (期末時点) (注1)	対応タイトル数
2020年5月期末	116.5万人	1.2万人	243
2021年5月期1Q末	126.9万人	1.5万人	266
2021年5月期2Q末	141.7万人	2.0万人	303
2021年5月期3Q末	158.8万人	2.3万人	336
2021年5月期末	179.7万人	3.2万人	380
2022年5月期1Q末	195.8万人	3.3万人	396
2022年5月期2Q末	213.5万人	3.8万人	421
2022年5月期3Q末	233.1万人	4.5万人	476
2022年5月期末	257.6万人	5.7万人	550
2023年5月期1Q末	276.0万人	5.6万人	616
2023年5月期2Q末	295.3万人	6.1万人	636
2023年5月期3Q末	316.4万人	6.5万人	676
2023年5月期末	343.2万人	7.6万人	747
2024年5月期1Q末	364.4万人	8.1万人	808
2024年5月期2Q末	386.6万人	8.4万人	898
2024年5月期3Q末	412.0万人	9.2万人	959
2024年5月期末	448.6万人	10.1万人	1,044
2025年5月期1Q末	474.8万人	9.9万人	1,086
2025年5月期2Q末	500.1万人	10.6万人	1,118
2025年5月期3Q末	526.3万人	10.8万人	1,172
2025年5月期末	558.4万人	11.7万人	1,230
2026年5月期1Q末	582.2万人	11.9万人	1,288
2026年5月期2Q末	606.8万人	12.6万人	1,331
2026年5月期3Q末	633.5万人	13.1万人	1,374

	導入法人数	
	期中利用数 (注2, 3)	累計導入数 (注3)
2020年5月期末	4件	4件
2021年5月期末	74件	75件
2022年5月期末	177件	203件
2023年5月期末	224件	317件
2024年5月期末	257件	430件
2025年5月期末	315件	553件
2026年5月期1Q末	225件	576件
2026年5月期2Q末	275件	598件
2026年5月期3Q末	350件	605件

(注1) 有料会員数に関する季節的要因を補足いたします。

1Qは、英語学習者の学習意欲等の変動による年間を通じた閑散期であることを要因として増加幅は微増もしくは微減となる傾向にあります。今期1Qは、前期同様に一般個人向けProプラン割引キャンペーンは実施しなかったものの、若干の増加となりました。

2Qは、例年同キャンペーンを実施しており、会員数は相応に純増する傾向にあり、今期2Qも同キャンペーンを実施して相応の純増を達成いたしました。

3Qは、例年通りに同キャンペーンを実施していることもあり、会員数は相応に純増しております。

4Qは例年4月に同キャンペーンを実施するため大幅に会員数を増加させる傾向にあり、加えて学校(中学校・高校)における新年度の新規会員数が追加されます。

(注2) 期中に有料で利用された法人数を記載しております。2026年5月期については、期首から各四半期末時点までの累計期間で算出しております。

(注3) 2026年5月期3Qより、法人件数のカウント方法を一部見直し、修正しております。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期会計期間末における総資産につきましては、前事業年度末に比べ71,285千円増加し、2,314,938千円となりました。これは主に、売掛金が112,152千円減少、前払費用が91,331千円減少した一方、預け金が180,384千円増加、ソフトウェアが61,392千円増加したことによるものであります。

### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債につきましては、前事業年度末と比べ119,048千円減少し、1,222,678千円となりました。これは主に、未払法人税等が45,334千円減少、買掛金が28,297千円減少、長期借入金が27,827千円減少したことによるものであります。

### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産につきましては、前事業年度末と比べ190,334千円増加し、1,092,259千円となりました。これは主に、四半期純利益216,439千円の計上により利益剰余金が増加したこと、及び自己株式の取得31,383千円によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月期の業績予想につきましては、最近の動向及び今後の見通し等を勘案し、2025年7月14日に発表した業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想の上方修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年5月31日)	当第3四半期会計期間 (2026年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,151,883	1,180,547
売掛金	330,398	218,245
前払費用	348,626	257,295
預け金	—	180,384
その他	263	57
流動資産合計	1,831,171	1,836,530
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	19,133	19,133
工具、器具及び備品	11,923	13,610
減価償却累計額	△16,377	△19,971
有形固定資産合計	14,678	12,772
無形固定資産		
ソフトウェア	337,046	398,438
ソフトウェア仮勘定	10,473	16,912
無形固定資産合計	347,519	415,351
投資その他の資産		
投資有価証券	19,980	19,980
敷金及び保証金	1,500	1,500
繰延税金資産	28,803	28,803
投資その他の資産合計	50,283	50,283
固定資産合計	412,481	478,407
資産合計	2,243,652	2,314,938

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年5月31日)	当第3四半期会計期間 (2026年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	82,755	54,457
未払金	53,376	62,077
未払費用	50,488	68,491
短期借入金	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	49,980	40,322
契約負債	892,188	876,817
賞与引当金	32,677	23,008
未払消費税等	30,815	22,241
未払法人税等	83,214	37,880
その他	3,854	2,832
流動負債合計	1,309,350	1,218,128
固定負債		
資産除去債務	4,550	4,550
長期借入金	27,827	—
固定負債合計	32,377	4,550
負債合計	1,341,727	1,222,678
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	92,880	95,519
資本剰余金		
資本準備金	90,880	93,519
資本剰余金合計	90,880	93,519
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	718,164	934,604
利益剰余金合計	718,164	934,604
自己株式	—	△31,383
株主資本合計	901,925	1,092,259
純資産合計	901,925	1,092,259
負債純資産合計	2,243,652	2,314,938

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2024年6月1日 至2025年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自2025年6月1日 至2026年2月28日)
売上高	1,191,768	1,488,288
売上原価	627,836	775,606
売上総利益	563,931	712,682
販売費及び一般管理費	240,922	395,358
営業利益	323,009	317,324
営業外収益		
受取利息	572	2,391
受取配当金	0	—
為替差益	766	2,130
雑収入	1,217	138
営業外収益合計	2,556	4,660
営業外費用		
支払利息	1,054	882
支払手数料	—	282
営業外費用合計	1,054	1,165
経常利益	324,512	320,819
税引前四半期純利益	324,512	320,819
法人税等	101,221	104,379
四半期純利益	223,290	216,439

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
減価償却費	58,627千円	84,756千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社の事業は教育サービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載は省略しております。